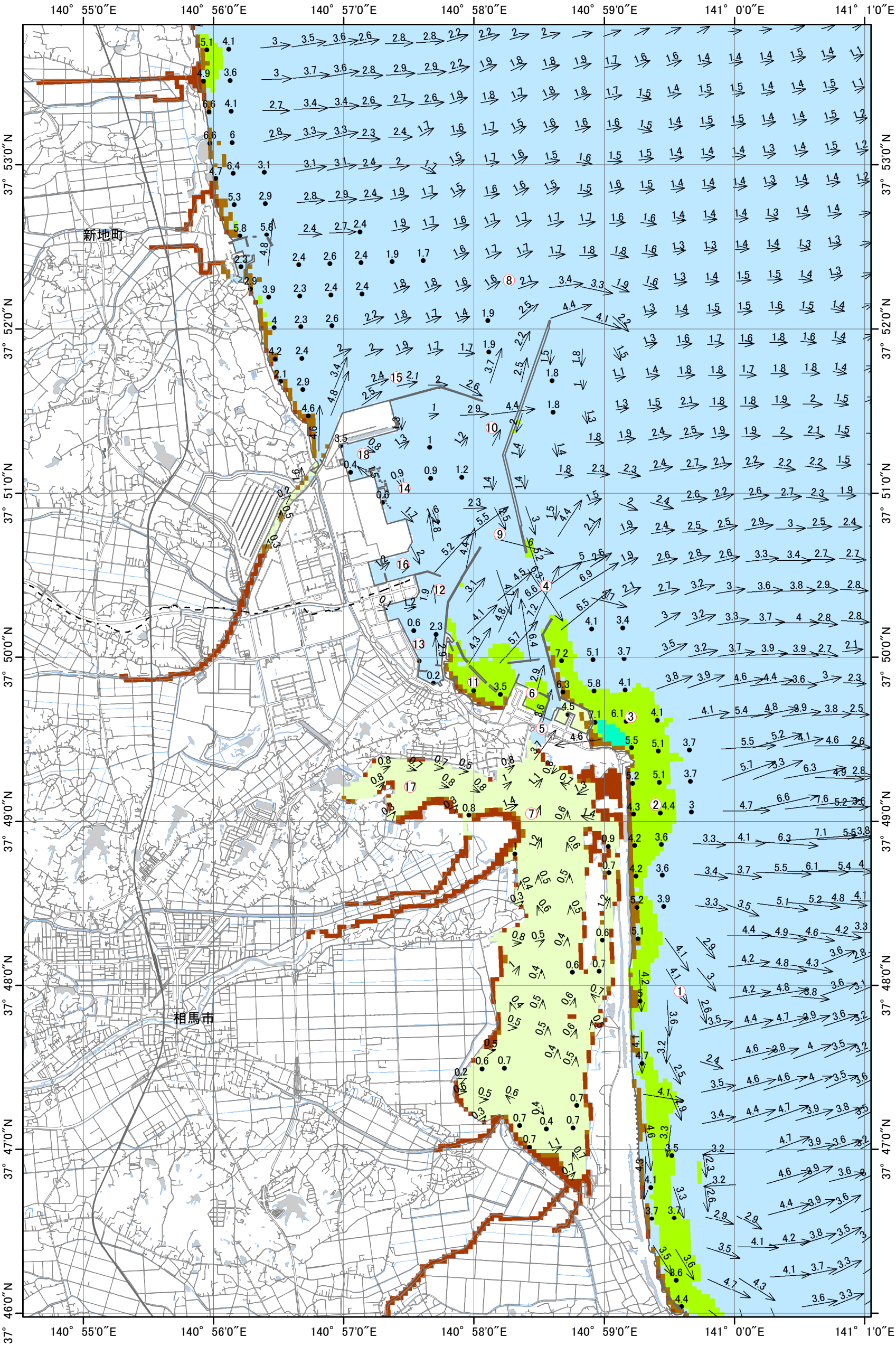




計算条件： 最低水面（零位）
 隆起量： 平均 -0.03m(-0.03m ~ -0.02m)
 Zo： 0.88m
 備考： 本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。

座標系：メルカトル図法
 測地系：世界測地系 (WGS84)



凡例

最大水位低下

3~最大3.4m

2~3m

0.5~2m

0.5未満

干出域

露出域

No. 経時変化図出力点

(図上の位置における津波の挙動を別図の経時変化図で示す。)

引潮時最大流 [knot]

6 knot

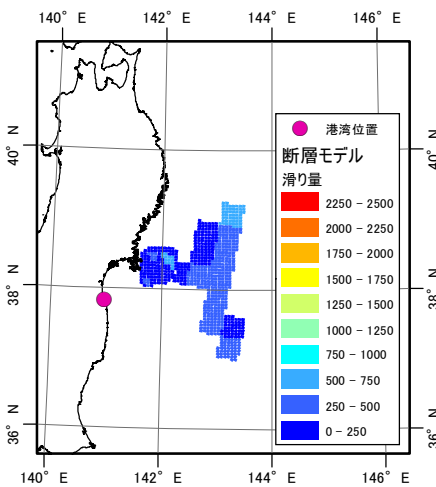
4 knot

2 knot

○ 防護施設は、津波の越流と同時に破壊されるものとして計算している。

○ 流向変化が激しく、進入・引潮等の判別が困難な海域では、流速のみを表示した。

断面モデル



宮城県沖地震

モーメントマグニチュード Mw 8.2

0 500 1,000 2,000 3,000 4,000 m

○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。

○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。

・海上保安庁が保有する水深データ
・基礎地図情報5mメッシュ (標高)・10mメッシュ (標高)、及び基礎地図情報 (国土地理院発行 国土地理院長承認 承認番号 平31情使、第30号 平成31年4月5日)

作成機関：海上保安庁
 防災情報図作成年月：令和元年7月 (初版)
 地形データ作成年月：平成31年3月 (初版)